

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【国際公開番号】WO2022/102489

【出願番号】特願2022-544339(P2022-544339)

【国際特許分類】

C 0 8 L 6 1 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 6 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 3 / 0 1 3 (2 0 1 8 . 0 1)

H 0 1 L 2 3 / 2 9 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 6 1 / 1 0

C 0 8 L 6 3 / 0 0 B

C 0 8 K 3 / 0 1 3

H 0 1 L 2 3 / 3 0 R

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月21日(2022.7.21)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パラターシャリーブチルフェノールノボラック樹脂(A)、ジシクロペンタジエン骨格を有するフェノール樹脂(B)及びフェノール性水酸基と硬化反応を生じ得る化合物を含有する硬化性組成物。

【請求項2】

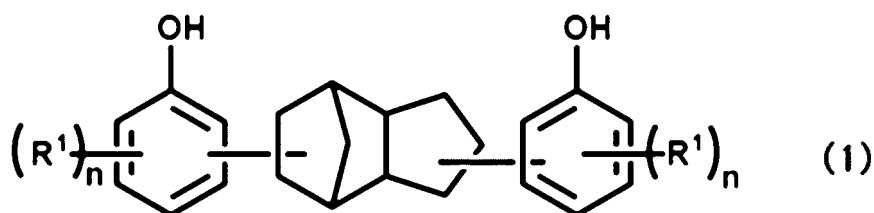
30

前記パラターシャリーブチルフェノールノボラック樹脂(A)中の二核体成分の含有割合が、GPCチャート図から算出される面積比率で30%以上である請求項1に記載の硬化性組成物。

【請求項3】

前記ジシクロペンタジエン骨格を有するフェノール樹脂(B)が、下記一般式(1)で表される化合物(b1)をGPCチャート図から算出される面積比率で30%以上含有する請求項1又は2記載の硬化性組成物。

【化1】



40

(式中、R¹は、それぞれ独立に、ハロゲン原子又は炭素原子数1~4のアルキル基で表し、nは0、1、又は、2を表す。)

【請求項4】

前記パラターシャリーブチルフェノールノボラック樹脂(A)、及び、前記ジシクロペンタジエン骨格を有するフェノール樹脂(B)の質量比で示される配合割合(A)/(B)

50

)が、15/85～85/15である請求項1～3のいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項5】

前記フェノール性水酸基と硬化反応を生じ得る化合物としてエポキシ樹脂を含有する請求項1～4のいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項6】

さらに無機充填材を含有する請求項1～5のいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の硬化性組成物の硬化物。

【請求項8】

請求項1～6のいずれか1項に記載の硬化性組成物を含有する半導体封止材。

10

【請求項9】

請求項8に記載の半導体封止材の硬化物を含む半導体装置。

20

30

40

50